

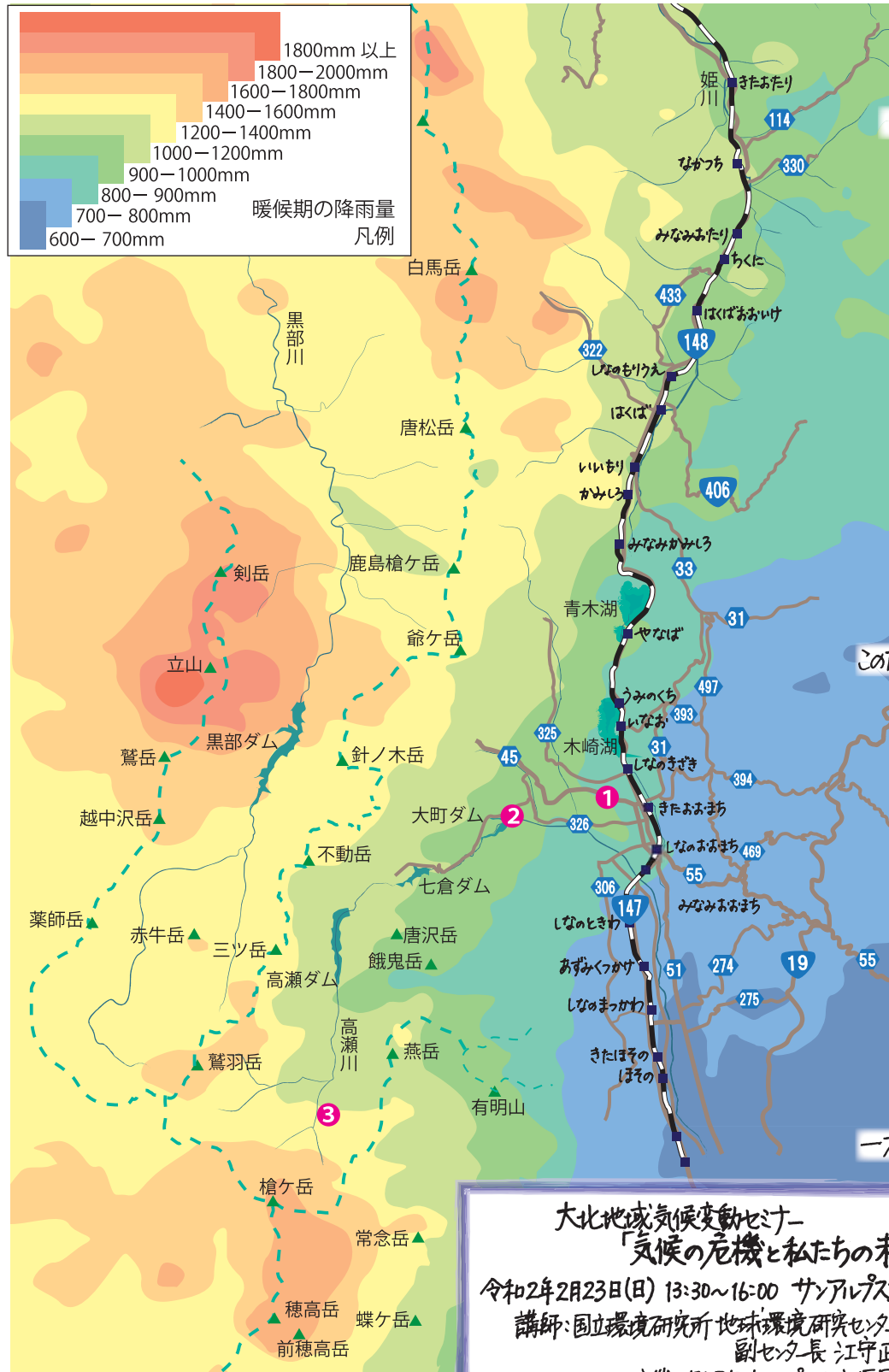


ぐるっとマップ

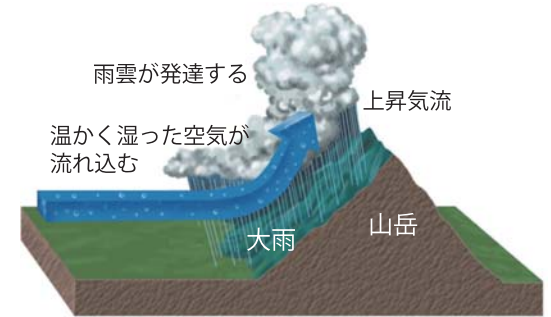
No.249 北アルプスの気象

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

保存版

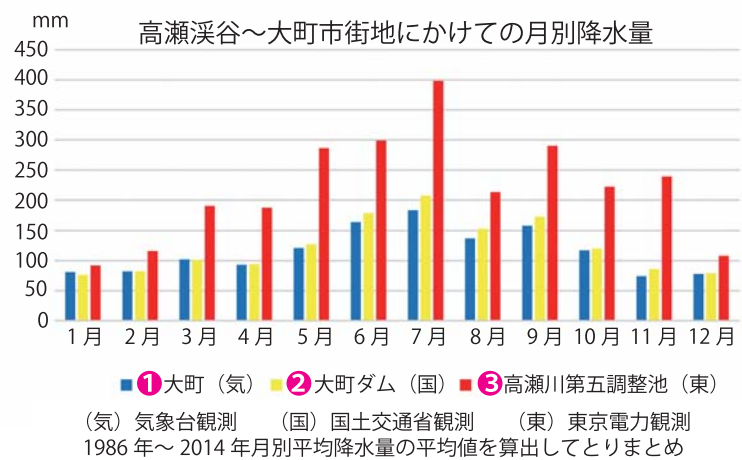


夏の豪雨にこの冬の異常な雪不足…。これまでの常識を超える天候が続いて心配になりますね。今週末には気候変動セミナーが計画されていますから、気候変動を学ぶ考える良い機会です。今回のマップでは、この地域の暖候期の降雨量のマップと共に、近年の北アルプスの気象と大町ダムの役割について紹介します。



地形性降雨発生仕組み
出典：千曲川・犀川の気象，2002年3月，国土交通省北陸地方整備局千曲川工事事務所

大町・北阿蘇地域は西側には、標高3000m級の日本アルプスがそびえおり、この山脈に向けて暖かく湿った空気が流れ込む場合、山の側面に沿って雨雲が発達して大量の雨を降らせます。(図 地形性降雨発生仕組み参照) このため、この地域では西の山の方が降水量が多く、東に行くほど少ない傾向があります。



一方で、昨年の台風19号の被害に見られるように、気象環境は年々大きく変化しています。大町ダムではこうした変化に対応するため、洪水調節容量を拡大する「大町ダム等再編事業」に着手しています。上流部の高瀬ダム・七倉ダムと一体となつて最も効率的な洪水調節方式についても検討を進めています。

大北地域気候変動セミナー
「気候の危機と私たちの未来」
令和2年2月23日(日) 13:30~16:00 サンアルプス大町にて
講師: 国立環境研究所 地球環境研究センター 副センター長 江守正多氏
主催: 長野県北アルプス地域振興局
問合せ: 0261-23-6539 (同振興局内環境課)

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。ぐるっとネットワーク大町事務局 TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

※このマップは、国土交通省大町ダム管理所長 姫野芳範さんのアドバイスをいただき作成しました。

※このマップは、2020年2月21日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意ください。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。